

# グローバル通信



2018/5/1

特集 ボルネオスタディーツアー

NO.55

グローバル関係のイベントと言いますと英語圏でのプログラムがまずはイメージされると思いますが、アジアに目を向けることも意識していただきたいと思います。ボルネオスタディーツアーは本校が主催するプログラムではありませんが、本校の理科の先生や生物部の部員が関係して、熱帯雨林の保全という切り口から環境問題への理解を深めています。今夏もツアーが実施されることで生物科関口伸一先生より原稿をお寄せいただきました。ツアー参加に当たっては事前の説明会への出席が必要とのことです。

## 第4回中高生対象ボルネオ島スタディーツアー説明会

今年も中高生対象にしたボルネオ島スタディーツアーがあります。海城の教員も参加予定です。参加を希望する生徒は、必ず説明会に参加してください。

日時：2018年5月12日 15時～18時

場所：都立武蔵高等学校（JR武蔵境駅より徒歩10分）

第1部 一般社団法人 Think the Earth 上田壮一氏による基調講演

「SDGs とソーシャルデザイン」

第2部 第4回中高生ボルネオ島 ツアー内容紹介や申込について

第3部 参加生徒の体験談、事後活動の紹介、質問コーナー

## ○ツアー概要

日程：平成30年8月9日(木)～8月16日(木)

費用：約20万円

参加資格：・中学生・高校生であること

・スタディーツアー説明会に参加していること(途中参加も可)

・事前学習(開催日未定、全3回を予定)に参加できること

※事情により上記の条件を満たせない可能性がある場合は事前にご相談ください。

主な活動場所：ボルネオ島 サバ州 西部地区

主な活動：現地ホームステイ／現地学生との交流／植林活動／ジャングルトレッキング／プランテーション農場の見学／キパンディ・バタフライパーク(昆虫標本館、植物園)の見学・昆虫のナイトトラップ／ロッカウィ・ワイルドライフ・パーク見学(野生生物保護施設)

プログラム企画：ボルネオ保全トラストジャパン(BCTJ)、ボルネオ保全学生グループ(SGBC)共同企画

ツアーに関するお問い合わせ：ボルネオ保全学生グループ(SGBC)事務局 Mail: office@sgbc.jp

※お問い合わせの際は学校名とお名前のご記入をお願いいたします。

※説明会の事前申込は必要ありません。当日会場へお越しください。

### ○ツアー参加者へ向けてのメッセージ

ボルネオ島はアジア最大の熱帯雨林をもち、世界有数の生物多様性を有しています。ボルネオ島にはテングザルやボルネオゾウなど数多くの固有種が生息し、野生のオランウータンの生息域でもあります。しかし現在、これら動植物の多様性が大規模プランテーションの開発等の影響により失われようとしています。多くの生物が絶滅の危機に瀕しており、自然と共生しながら伝統的な生活を送ってきた地元住民にも様々な影響を与えています。

このプランテーション開発は私たちの生活と密接しています。カップ麺やスナック菓子や冷凍食品、さらには洗剤や化粧品などに利用されている植物油(パーム油)の大量生産が主な原因だからです。一方、ボルネオ島では保全活動や植林活動、環境教育活動など様々な活動が行われ、日本でも多くの企業や団体が協働しています。

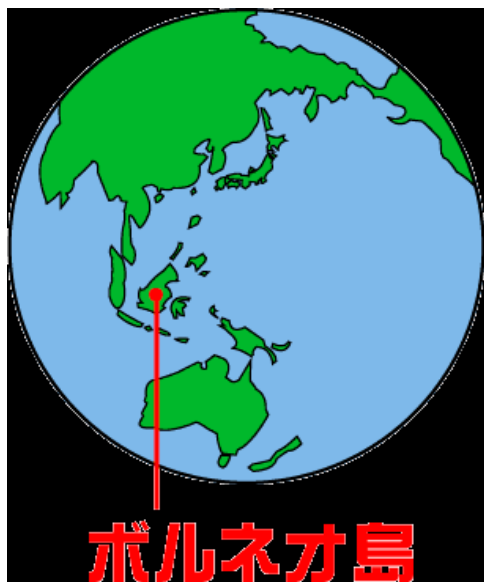
現在の地球は、貧困や紛争、環境問題など、様々な課題を抱えています。しかし私たちの生活とそれら地球規模の問題が、一体どのように繋がっているのかを実感することは容易ではありません。地球の未来を創っていく中高生のみなさんには、地球の現状や保全活動現場の体験、現地の同世代の生徒との交流を通じ、地球の未来を考えるきっかけを得てほしいと思っています。これらが一度に経験できる場所、それがボルネオ島にあります。

### ○海城生の過去のツアーでの参加報告

僕は8月13日～20日までの間、ボルネオ島のマレーシア側へ行ってきました。ボルネオでは大きく分けて3つのことを体感してきました。1つ目は、熱帯雨林の素晴らしさです。ボルネオは赤道直下に位置しているため、熱帯雨林と生態系が発達しています。日本とは比べ物にならないくらい多様です。どの生き物をとっても熱帯雨林を生き抜くために様々な工夫をしています。例を挙げると、カレハカマキリは、その名の通り枯葉に擬態しています。感動するレベルに枯葉にそっくりです。これ以外にも様々な工夫をして、生き物たちは生き延びています。2つ目は、ボルネオの森林破壊の現状です。現在ボルネオでは、アブラヤシプランテーションを始めとする環境破壊が進んでいます。WWFによると、2020年までにボルネオの熱帯雨林の半分以上が失われてしまいます。この写真は奥まで広がっているプランテーションと、パーム油の搾油工場です。この光景を見たとき、衝撃を受けました。現在ボルネオが置かれている森林開発の酷さを改めて感じました。3つ目は現地の方の暖かさです。泊まったホテルのスタッフさんや現地の学生さんなど、どの人をとってもとても親切で優しかったです。時間にもとてもルーズで、遅刻して当たり前のような雰囲気、とても衝撃を受けました。実際に帰ってきてからも、ボルネオの自然を守るために今まさに動きだそうとしている段階です。ボルネオで暮らした毎日毎日が衝撃の連続で、とても充実した1週間になりました。 現高1 黒羽秀磨

☆校内におけるボルネオスタディーツアーについてのご質問は関口先生が窓口となっています。質問がある場合は5号館3階生物職員室を訪ねてください。木曜日は研究日で原則不在となります。

ボルネオ島とは？



一つの島にマレーシア、ブルネイ、インドネシア  
の3か国が同居しています。

左

[http://www.shigei.or.jp/ento\\_museum/sekai04.htm](http://www.shigei.or.jp/ento_museum/sekai04.htm)  
より引用



(上) <http://borneo2leaf.com/borneo.html> より引用

## 高3生徒向け米国大学進学奨学金情報 グループバンククロフト基金

ご存知の通りアメリカを含め海外の大学で学ぶとなると高額な学費をどう工面するかということが問題になります。どの大学にも複数の奨学金プログラムが用意されていますが、金額や期間は様々です。今回ご紹介するのは日本全国で6名程度という狭き門の奨学金ですが、アメリカ国内の一流のリベラルアーツカレッジで4年間学ぶ学生を支援するものです。

リベラルアーツカレッジとは学生数2,000人程度の学部教育を主体とした大学です。学生は少人数制のクラスで、密度の高い授業により、自然、人文、社会科学各分野の幅広い分野の学問を学び、質の高い知的訓練を受けることができます。また寮生活を通して、アメリカだけでなく他の国からの学生とも交流を持つことで、国際人にふさわしい人格が形成されます。

6名に全く同じ奨学金が支給されるのではなく、対象大学が指定されたり金額が異なる奨学金が支給されます。最終応募締め切りは9月10日（月）ですが、TOEFLやSATのスコアが要求されるので応募前に受験するか受験準備を始めておくことが推奨されています。

グループバンククロフト基金の案内は毎年届いているので恐らく来年以降も継続していくと思われます。高校3年生に限らず関心のある高校2年生以下の生徒諸君もグローバル教育部へおいで下さい。細かい応募条件・支給条件は個別にお知らせします。

## 高1・高2対象カナダ短期留学説明会実施

高1・高2の生徒を対象にしたカナダ短期留学制度が始まり既に2回実施しました。直近の生徒レポートは当通信でもご紹介した通りです。カナダトロントにある公立高校へホームステイしながら3カ月弱留学するプログラムですが、今年度も留学生を募集します。該当学年の生徒諸君には案内のプリントを配布しました。以下の通り説明会を実施しますので希望者は原則親子でご出席下さい。

### 説明会

日程：5月19日（土）午後1時15分～

場所：本校第1会議室

高1・高2の生徒と保護者が対象となります。参加希望の場合は別紙（A4）の下に必要事項を記入・切り取った上で、5月12日（土）までにグローバル教育部へ直接ご提出下さい。